

# 7セグメント表示器 SEG85 取扱説明書

SEG85H3G-2MW

SEG85H2G-2MW

SEG85H1G-2MW

SEG85H3G-W

SEG85H2G-W

SEG85H1G-W

SEG85H3G

SEG85H2G

SEG85H1G

1. 仕様	2
2. 形式及び種類	2
3. 配線方法	2
4. 外形図	2
5. 設定及び配線用端子台部	3・4
6. 点灯条件	4

2010年02月25日 作成

## サカエ電機株式会社

住所:名古屋市千種区内山三丁目30-10

電話:052-731-2591

FAX :052-731-8233

<http://www.sakaedenki.co.jp/>

メールアドレス shop@sakaedenki.co.jp

担当者	
営業	業務
後藤	伊藤

## 1.仕様

仕様	SEG85-***
定格入力電圧	DC24V
消費電流	100mA (定格電圧時)
表示方法	発光ダイオードによるドットセグメント表示
文字高さ	85mm
外形寸法	113(H) × 76(W)

## 2.形式例及び種類

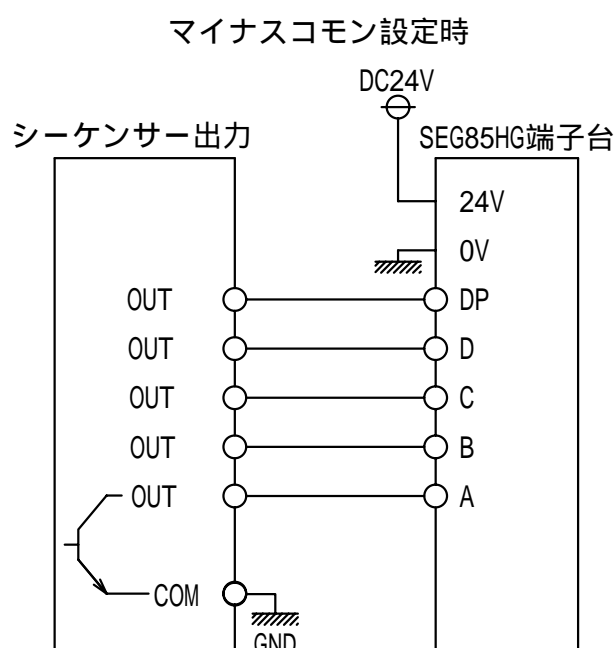
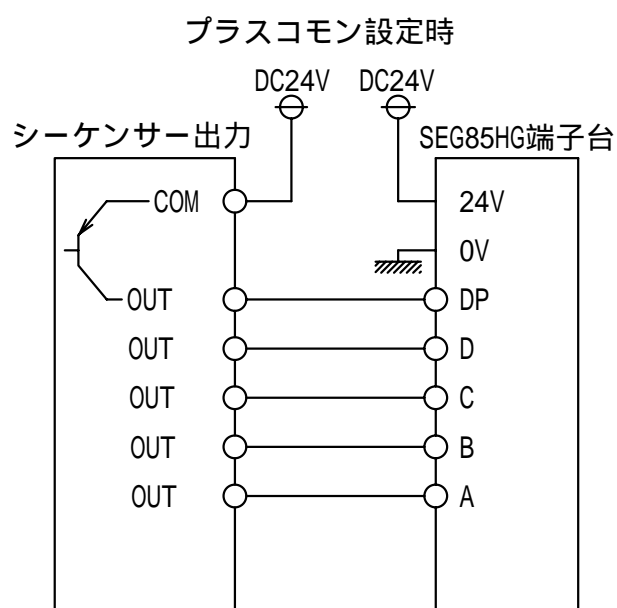
**SEG85H3G-2MW**

- シリーズ名(文字高さ85mmタイプ)
- 桁数 最大3桁
- コモン切り替えタイプ
- 光量調整タイプ(2MW、白色のみ)
- 発色指定 指定無し-赤 W-白

形式例

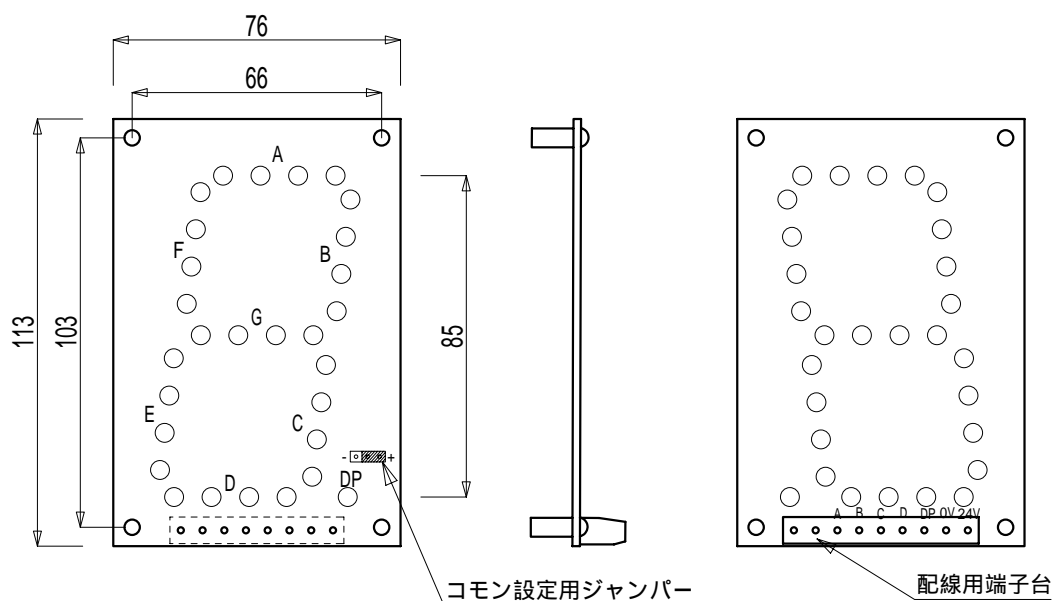
- 眩し過ぎないように明るさ調整タイプ白色1桁  
SEG85H1G-2MW
- 眩し過ぎないように明るさ調整タイプ白色3桁  
SEG85H3G-2MW
- 白色2桁  
SEG85H2G-W
- 赤色3桁  
SEG85H3G

## 3.配線方法



本製品はアイソレーションされておりません。  
電源(DC24V)は必ずシーケンサーの出力カードと  
同じにしてください。

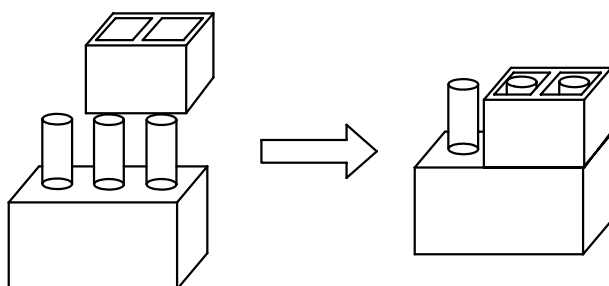
## 4. 外形図



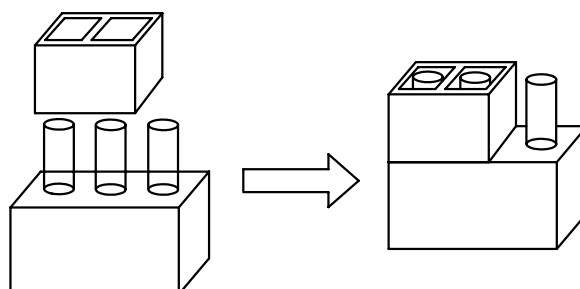
## 5. 設定及び配線用端子台部

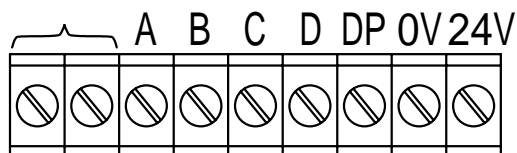
ジャンパースイッチを基板シルクの  
 + 側に設定すると正論理 (PNP)、  
 - 側に設定すると負論理 (NPN) 入力となります。

- [Shaded] + プラスコモン (PNP) 設定時



- [Shaded] + マイナスコモン (NPN) 設定時





#### 端子台への配線方法

通信ケーブルを端子台へ差し込み、細いマイナスドライバーで上部のネジを締める事により棒端子を固定します。

推奨締め付けトルク：0.4N・m

推奨棒端子：BT1.25-10-1(ニチフ)

注1:端子台に電線を差し込む前に上部のネジを十分緩めて下さい。

ネジが締まり切った状態で電線を差し込むと、固定金具の下に電線が入り込んで固定出来ない場合があります。

注2:棒端子には、短絡防止の為マークチューブを被せて下さい。

注3:指し込み口に電線を2本接続する場合、棒端子の背中どうしを合わせて挿入し、ネジを締めて下さい。

## 6.点灯条件

	プラスコモンに設定時					マイナスコモンに設定時				
	D	C	B	A	DP	D	C	B	A	DP
0	L	L	L	L	—	H	H	H	H	—
1	L	L	L	H	—	H	H	H	L	—
2	L	L	H	L	—	H	H	L	H	—
3	L	L	H	H	—	H	H	L	L	—
4	L	H	L	L	—	H	L	H	H	—
5	L	H	L	H	—	H	L	H	L	—
6	L	H	H	L	—	H	L	L	H	—
7	L	H	H	H	—	H	L	L	L	—
8	H	L	L	L	—	L	H	H	H	—
9	H	L	L	H	—	L	H	H	L	—
.	—	—	—	—	H	—	—	—	—	L